



「オシドリってかわいいね」写真を見ながら話が弾む



入口を入るとオシドリや美しい風景の写真が出迎える



美しい風景写真に見入る

オシドリの愛くるしい姿、奥日野の美しい風景にうっとり 写真展『冬から春へ、奥日野の原風景展』が、JR米子駅で開催される

かわいい野鳥の姿と自然の原風景を見てもらい、その奥日野を訪ねてもらおうと、写真展『冬から春へ、奥日野の原風景展』（奥日野ガイド倶楽部、オシドリグループ主催）が、1月20日から2月17日まで、JR米子駅2階のふれあいホールで開かれ、多くの方が美しい写真に見入りました。

会場には、仲睦まじく寄り添い合うオシドリの姿や羽ばたく様子など、17点のオシドリの写真のほか、オシドリ観察小屋周辺に姿を見せるヤマセミやカワセミなど野鳥の写真も展示されました。

また、雪深い奥渡の風景や明地峠の雲海、舟場の桜並木、敷津橋など、日野町の四季折々の魅力あふれる写真も展示され、来場者の目を楽しませました。

訪れた人からは「日野川のオシドリを見に行きたい」「オシドリは知っていたが、こんなにかわいいとは。いつか訪れたい」「懐かしく思った。心癒やされる空間でした」「奥日野の風景は美しい。写真を見て懐かしさを感じた」などと反応は上々。

今回の企画は、まち歩きガイド『奥日野ガイド倶楽部』が行うイベント『ねうブラ』に、JR米子駅の職員が参加し、交流したことがきっかけで実現しました。この会場は、JR米子駅の2階を活用したもので、駅も駅内放送で利用者呼びかけ、協力しました。

まちの魅力を伝える企画など、今後もさまざまな企画が期待されます。

▼あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。★役場企画政策課まで（電話72・0332）



ほとほと役に一斉に水をかける

地域の伝統、水をかけて厄落とし

伝統行事を受け継ぐ 奇習行事「ほとほと」

みのやかさ姿の男性らに水をかけて厄を払う菅福地区の奇習行事「ほとほと」（里山元氣塾主催）が、2月9日、菅福地区で行われました。

今年は6人の家で行われ「ほとほと〜、ほとほと〜」と言って訪れたほとほと役に、厄を落とそうと、家族や近所の住民らが総出で水をかけました。

これは、厄年を迎える人のいる家庭を、ほとほと役の地元男性らが菅福神社のお札やわらの馬、しめなわなどの縁起物を持って訪れ、家の人から祝儀の品を受け取って帰るところに水をかけると厄が落ちるといって、菅福地区に古くから伝わる奇習行事です。

今回、ほとほとが訪れた水谷美鈴さん（中上菅）の家では、近所から借りたたくさんバケツに、子どもたちがあふれるほど水を入



子どもたちも準備万端

れて準備しました。水谷さんは「私の家では3人目となります。水がかかる方には申し訳ない気持ちですが、厄落としはほとほとだけの予定。しっかり厄を落としたい」と笑顔。そして「よそにははない変わった行事ですね。町外からお嫁に来て伝統行事に参加でき、ますます地域の一員になれた気持ちがあります」と、喜びを感じていました。

また今回は、ほとほと役を広く募集し、町内外から3人が体験しました。里山元氣塾の小谷博徳塾長は「菅福地区以外の人にも、ほとほとに関心を持ってもらおうと募集しました。特に若い人に声をかけながら、地域の伝統行事を守っていきたい」と話しました。